

白石笑顔未来塾 Part 2 開催！

～人「交」密度を高め地域の課題を地域の力で解決するために～

8月27日に白石笑顔未来塾を開催します。3月に開催した白石笑顔未来塾では、今後20年の少子高齢化や人口減少は今までと大きく異なること。そして、この現実ただ嘆き誰かが解決してくれるのを待つのではなく、真剣に向き合い、自分たちでできることを増やしていくことこそが、私たち自身がここ白石で幸せな暮らしを守り続けていくための方法だと学びました。一緒にさらに理解を深め、笑顔あふれる白石を創造しましょう！皆さんのご参加をお待ちしています。

☎生涯学習課 ☎22-1343 FAX 24-5377

○日時 8月27日(日)

【基礎編 9:30～12:30】

◆内容 「自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために一総働と小規模多機能自治のすすめ」

白石の現状と将来の予測から、地域での暮らしを継続するために私たちがすべきこと、できることを学びます。

※前回の講座と同じ内容を予定しています。

◆対象 地域づくりに関心、課題がある方

【実践編 14:00～18:00】

◆内容 住民主体の持続可能な地域づくりのために、団体や地域における、行事の棚卸し、人口予測、全住民調査の設計について、グループワークを中心に進めていきます。

◆対象 前回の講座、もしくは【基礎編】の講座を受講し、同じ組織、団体、地域の方が複数名参加できる方 ※レベルアップを図り、実践にすぐに生かせる内容です。

○講師 I I H O E「人と組織と地球のための国際研究所」代表 川北 秀人 氏

○場所 中央公民館

○持ち物 ソシオマネジメント第3号(当日500円で販売)、筆記用具、所属組織の年間のスケジュールがわかるもの(実践編に参加の方のみ)

○申し込み 8月17日(木)までに生涯学習課にお申し込みください。

※駐車場に限りがありますので、相乗りや車以外での来場にご協力ください。

ヒントを得て
地域づくりに生かしましょう！

ピンチをチャンスに変え、地域の発展のため奮闘している方々を紹介します

上原自治会

鎌先温泉内で5月から10月の隔週第二・第四土日に鎌先朝・夕市を開催しています。ここでは上原地区の方が作った野菜や米などを観光客や地元の方に販売し、残った野菜は各旅館の協力により完売しています。野菜作りをしている高齢者には現金収入になり、元気の源にもなっています。上原自治会はこのほかにもさまざまな取り組みをしており、川北先生からお話のあった住民アンケートや、自治会長の引き継ぎ書も作成しています。

自治会長の田切富生さんは「上原地区は大変良いところで、こんなに素晴らしいところはないと思っています。だからこそ、この資源を生かして地域の方が幸せになるよう取り組んでいきたいと考えています」と話していました。地域の力を合わせて取り組む上原地区から、ますます目が離せません。



斎川まちづくり協議会(斎川公民館)

「今までも少子高齢化に危機を感じていましたが、地区民のよりどころの斎川小学校が廃校になってしまうことで、このままでは地域の活力がさらに低下するという危機感が強くなりました。そこで、みんなの知恵と力で地域を盛り上げるためワークショップを開催しました」と畑中多賀男公民館長と高橋政浩副協議会長は昨年度開催したワークショップを振り返りました。

ワークショップをととして斎川地区の地域資源を再確認する中で、特産品のころ柿(ほし柿)づくり教室を有料で開催することになりました。地域の方が先生になり、仙台・地区外から参加した親子55人にころ柿づくりを指導しました。地域外の方を対象にした唯一の事業で、斎川地区をPRすることができました。今年も昨年以上に充実した教室の開催を予定しています。



今月は平成29年度白石市まちづくり交付金事業で花を活用した事業を行っている団体の活動を紹介します。

☎生涯学習課 ☎22-1343 FAX 24-5377

このゆびとまれプロジェクト



越河小学校のプール前の花壇にラベンダーを植えました。この日は、越河小学校の児童21人も参加。高学年の児童が低学年の児童に教える一幕もあり、心温まる時間になりました。参加した児童は「思ったより早く植えられました。花がきれいに咲いているとうれしいです」と話してくれました。校内には、環境委員会の児童たちが植え管理しているたくさん花々もきれいに咲き並んでいました。

山根自治会

地域を盛り上げるために、地域の人同士が同じ方向に気持ちを向けることを目的に、花を植栽し地域内を彩ることにした山根自治会では、公立刈田総合病院近くに作った花壇にマリーゴールド、ブルーサルビアなどを植栽しました。参加者は「各家庭に花はありますが、このようにみんなで植栽するのは地域内がまとまっているからこそできることです」と話してくれました。たくさんの笑顔があふれ、地域の交流がさらに深まった時間になりました。



鷹巣自治会



鷹巣第5公園に、ペゴニア、マリーゴールド、サルビアを植えました。佐藤昭自治会長は「今年で4年目になった公園への植栽活動で、子どもを連れた家族の参加も目立ってきました。地域の交流も図られています」と話してくれました。今年は東中学校の生徒が雑草取りを手伝ってくれる予定になっているそうです。地域のさまざまな方の力で、花がきれいに咲くこの公園が維持されています。

面白石の会からのお知らせ

面白石の会では、花と緑を活用して白石の新たな魅力づくりを進めています。その一環として、白石城歴史探訪ミュージアム前とJR白石駅前にプランターを設置しました。現在、このプランターへの水やりなどをしてくださるボランティアを募集しています。関心がある方は、生涯学習課までお電話ください。



花のお世話を
してくれる方
募集中！